

# 循環器専門医研修ネットワークプログラム

## 1 緒言



循環器科が扱う疾患は虚血性心疾患、急性心不全、ショック、不整脈、大動脈瘤などの急性疾患のみではなく、高血圧、心筋症、慢性心不全、動脈硬化症、脂質異常症といった慢性疾患も担当します。重要な疾患と患者数が多く、診断法や治療法も多岐にわたるためにその習得に時間が掛かりますが、どの地域においても循環器専門医が求められ、やりがいのある分野であると思います。静岡県は、気候も良くて風光明媚な土地柄で住みやすいところですが、若手医師の都市部への偏在により人口当たりの医師数は少なく、将来の地域医療の中心となる若手医師が求められています。この静岡県循環器専門医研修プログラム（西部版）は、若手医師が効率よく内科認定医と循環器専門医を取得できることを目標としていますが、ネットワークに参加する病院の多くは浜松医科大学関連施設であり、お互いの緊密な連携により、様々な教育機会を提供できることを目指しています。また、指導医の殆どは医学博士号と海外留学の経験を有していますので、学会および論文発表の指導も行えるのが特徴の一つです。各指導医が責任を持って教育に当たりますので、元気のある若手医師の参加を大いに期待しています。

プログラムリーダー 浜松医科大学医学部 内科学第三講座 教授 林 秀晴

## 2 プログラムの目的

- (1) 本プログラムは、初期研修期間を終えて循環器専門医を目指す医師を対象とし、研修期間は原則 5～6 年間とする。専門研修 2 年目に内科認定医を取得し、5 年目を以降に循環器専門医試験を受けて、専門医の資格を取得する。
- (2) 参加病院を 3 グループに分け、(A) ネットワーク責任病院としての浜松医科大学附属病院、(B) 循環器科において基本的な循環器学の知識と技術の習得をめざす循環器専門基幹病院、(C) 内科・循環器学の両方を学ぶ地域基幹病院、において基本的な内科学、循環器学の知識と技術および、より専門的な知識や心臓血管外科との連携を学び、臨床的・基礎的な研究の一步を踏み出す。
- (3) 研修方法としては、A コース、B コース、C コースの 3 コースに分けて選択する。A コースは、1 年目を浜松医科大学附属病院で研修し、2、3 年目を循環器専門基幹病院 1 施設で研修する。続いて 4 年目は地域基幹病院で 1 年間研修する。5、6 年目は選択とし、地域基幹病院 1～2 施設での研修を続けるか、浜松医科大学病院で 1～2 年間の研修を行う。B コースは、1～3 年目を循環器専門基幹病院 2 施設で研修する。4 年目を以降は A コースと同様である。C コースは、1 年目を地域基幹病院で研修し、2～4 年目を循環器専門基幹病院 2 施設で研修する。5、6 年目は選択とし、浜松医科大学病院で 1～2 年間研修するか地域基幹病院 1 施設で 1～2 年間研修する。循環器専門基幹病院、地域基幹病院の具体的な研修病院の選択や研修の順番、および研修期間は本人の意向を重視して柔軟に対応するが、静岡県外で初期研修を行った医師には、A コースを推奨する。

### 3 プログラムの目標

- 1) 研修2年目に認定内科医を取得し、5、6年目に循環器専門医を取得する。
- 2) 日本循環器学会認定の「循環器専門医研修カリキュラム」(2007年)を充足する研修を行う。
  - ① 研修カリキュラムの下記10疾患の検査や治療の「施行又は判断」ができる。  
心不全 不整脈 血圧異常 虚血性心疾患 弁膜疾患 心筋疾患  
感染性心内膜炎 肺性心疾患 先天性心血管疾患 大動脈疾患
  - ② 心臓超音波検査、核医学検査(心筋シンチ)、心臓MDCT検査、心臓MRI検査を担当する。
  - ③ 心臓カテーテル検査の助手と術者(200例以上)を担当する。
  - ④ 冠動脈インターベンション治療の助手と術者(心カテ経験による)を担当する。
  - ⑤ 不整脈のアブレーション治療および植え込み型ペースメーカー、除細動器、心臓再同期療法  
法の助手と術者(経験による)を担当する。
  - ⑥ IABP挿入、一時的ペースメーカー植え込み、心嚢穿刺を習得する。
  - ⑦ 学会発表を年1題以上行う(症例報告を含む)。
- 3) 「AHA・BLSヘルスケアプロバイダーコース」「AHA・ACLSプロバイダーコース」を受講する。
- 4) 症例検討会、病棟カンファレンスでの発表や進行役を務め、積極的に討論に参加する。

### 4 プログラムの特徴

- (1) 循環器専門医を目指すには、まず医師、内科医としての基本的な姿勢を身につけることが重要である。そのために医師としての基本的な心構えや患者との関係作りを、指導医が自らの実践を基に教育し、内科認定医資格を取得する。
- (2) 循環器医としては、カテーテルによる診断と治療(冠動脈インターベンション治療や不整脈のアブレーション治療)、急性心不全やショックなどの救急医療を自ら責任を持って行える技術を習得することが重要であり、基本的に循環器専門医として独り立ちできるように指導する。不整脈治療や外科手術症例が少ない病院の研修医に対しては、ネットワーク内の専門病院におけるカンファレンスおよび実際の手技に参加する。
- (3) 高血圧、慢性心不全などの慢性治療を十分行えることも重要である。また、聴診を含めた身体所見のとり方、心電図、心臓超音波、各種画像診断などの非侵襲的な検査を自分で行い判断できるように指導する。
- (4) 基本的な知識と技術を習得した後、より高度な循環器医として羽ばたくために、高度専門病院(浜松医科大学病院)において、心臓血管外科との連携により手術症例を数多く経験し、臨床研究の指導を受けて学会発表や論文発表をする。また、希望により大学院に入学して基礎的研究を深め、海外留学の道を目指す。
- (5) 本研修プログラムに参加する病院の指導医の多くは医学博士号を有して海外留学の経験があり、論文の読解や学会発表・論文執筆の指導ができる。従って、循環器専門医の資格を取得後にも、より高度で学術的な医師・研究者としての成長が望める。希望者は、内科専門医、インターベンション治療認定医を取得する。
- (6) 本研修プログラムの病院における指導医や上級医は、人間的な繋がりを持ってお互いに緊密な連絡や協力が可能であり、セミナーや検討会を通じて指導できる。

## 5 研修カリキュラム

### 1) 研修期間

- ① プログラム全体の研修期間は5-6年間（60-72ヶ月）とする。
- ② コースは、Aコース、Bコース、Cコースのうち一つを選択する。5、6年目は選択とする。
- ③ 原則として1年を単位として3つ以上の病院をローテートする。

### 2) 提供される教育機会

- ・循環器専門医による定期的な教育セミナー（年3回を予定）
- ・研修医などによる症例発表会と臨床研究の検討会  
（浜松循環器フォーラムとして年2回施行中）
- ・動物およびスキルスラボを用いたカテーテル手技研修会への参加（国の高度医療人推進事業に参加）
- ・各病院および浜松医科大学における症例検討会（CPCを含む）および論文抄読会
- ・日本循環器学会（総会、地方会）への出席と教育セミナーへの参加（単位認定）
- ・日本循環器学会関連学会への参加（単位認定）
- ・医師会および研究会が主催する著名講師による講演会への出席

## 6 研修例

### 1) 研修計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	A. 浜松医科大学附属病院											
	B. 循環器専門基幹病院1											
	C. 地域基幹病院1											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年目	A. 循環器専門基幹病院1											
	B. 循環器専門基幹病院1											
	C. 循環器専門基幹病院1											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年目	A. 循環器専門基幹病院1											
	B. 循環器専門基幹病院2											
	C. 循環器専門基幹病院1											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4年目	A. 地域基幹病院1											
	B. 地域基幹病院1											
	C. 循環器専門基幹病院2											

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5～6年目	A. 浜松医科大学附属病院または地域基幹病院1,2											
	B. 浜松医科大学附属病院または地域基幹病院1,2											
	C. 浜松医科大学附属病院または地域基幹病院2											

## 2) 研修指定病院

- (A) 浜松医科大学附属病院
- (B) 循環器専門基幹病院：磐田市立総合病院、聖隷浜松病院、聖隷三方原病院、  
浜松医療センター、浜松赤十字病院、浜松労災病院
- (C) 地域基幹病院：JA 静岡厚生連遠州病院、菊川市立総合病院、市立湖西病院、  
中東遠総合医療センター

## 3) 研修指定病院の選定条件

- ① 日本循環器学会専門医：常勤で2名以上
- ② 日本内科学会専門医・指導医：常勤で2名以上
- ③ 学会活動：日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心血管治療学会、日本不整脈学会、国際心臓研究学会等での積極的な学会発表
- ④ 学術論文：専門誌等への論文投稿が年間1編以上

## 4) 研修の具体例

Bコース（5年）：磐田市立総合病院2年、浜松医療センター1年、菊川市立総合病院1年、  
浜松医科大学附属病院1年

## 7 2015-2016 研修指定病院とプログラム責任者、病院の特徴

### (A) 浜松医科大学医学部附属病院



#### ネットワーク責任医師

内科学第三講座教授 林 秀晴

日本循環器学会専門医、日本内科学会認定医・指導医、日本不整脈学会専門医、日本循環器学会、日本内科学会、日本心不全学会、日本高血圧学会、国際心臓研究学会、同日本部会 各評議員、日本心臓病学会特別正会員 (FJCC)  
The Japan section council of the international academy of cardiovascular sciences

病床数：613床

年間実績(2013年)：冠動脈造影 378件、PCI 101件、アブレーション 56件、ペースメーカー（新規+交換）41件、ICD/CRT-D 15件、心臓CT 242件、心筋シンチ 252件、心臓MRI 141件、心エコー 2781件

病院紹介/研修医へのメッセージ：高度機能病院で心臓血管外科を含む各科を有する総合病院として、診療と教育の中心となっています。各種セミナーを企画するとともに、心臓外科とのカンファレンスやカテーテルアブレーション、ICD/CRT-Dの経験症例が少ない後期研修医にも研修の機会を積極的に提供します。また、後期研修後の研究指導も担当して、大学院（大学院課程および社会人大学院）における医学博士号の習得や国内/海外留学の受け皿としても責任を持ちます。

## **(B) 循環器専門基幹病院**

### **①磐田市立総合病院**



循環器内科部長 松永 正紀

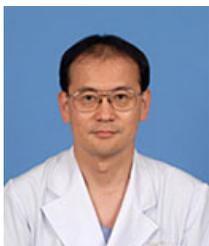
日本循環器学会専門医  
日本内科学会内科認定医・総合内科専門医  
臨床研修指導医講習会終了

病床数 500床

**年間実績(2014年):**冠動脈造影 377件、PCI 162件、アブレーション 4件、ペースメーカー(新規+交換) 45件、心臓CT 436件、心筋シンチ 343件、心臓MRI 75件、心エコー 5855件

**病院紹介/研修医へのメッセージ:**当院は地域の基幹病院として、近隣の医院とも連携し診療しております。前期研修医にも人気があり、スタッフも多く活気のある病院と思います。コミュニケーションもとりやすく、いろいろと相談しやすい雰囲気があります。お互いに刺激しあい、切磋琢磨していける環境であり、より一層の成長が期待できることと思います。やる気のある方、お待ちしております。

### **②聖隷浜松病院**



副院長兼循環器内科部長 岡 俊明

日本内科学会内科認定医・総合内科専門医  
日本循環器学会専門医  
臨床研修指導医講習会終了

病床数 744床

**年間実績(2013年度):**心臓カテーテル検査 881件、PCI 460件、末梢血管インターベンション 45件、アブレーション 114件、ペースメーカー植え込み術 71件、植え込み型除細動器(ICD) 18件、両心室ペーシング治療(CRT) 2件

**病院紹介/研修医へのメッセージ:**聖隷浜松病院は急性心筋梗塞や狭心症などの虚血性心疾患、慢性心不全、不整脈、弁膜症、心筋症、高血圧性心疾患などの心臓病全般を対象として専門的な治療を行なっています。また、カテーテルインターベンションやアブレーション、ペースメーカー植え込みなどの侵襲的な治療も指導医のもとで積極的に行なっており、心臓外科とも合同カンファレンスを行ない、手術適応についても検討しています。循環器科スタッフによるCCU当直を行ない24時間体制で救急対応も行なっています。循環器疾患に対する基本的な考え方から、高度な専門的治療まで学べると思いますので、是非このプログラムに循環器専門医を目指す若手医師が参加することを期待しています。

### ③聖隷三方原病院



循環器部長 若林 康  
日本内科学会認定医  
日本循環器学会専門医  
臨床研修指導医講習会修了

病床数：934床（一般810床、精神104床、結核20床）

年間実績（2013年度）：冠動脈造影 431件、PCI 244件、アブレーション 39件、体外式ペースメーカー 55件、下肢PTA 56件、PTRA 2件、PTMC 0件、ペースメーカー（新規）50件（39件）、心臓CT 233件、心筋シンチ 709件、心臓MRI 147件、心エコー（経食道エコー）6025件（72件）、ホルター心電図 758件

心不全入院患者数 157例、院内死亡 9例、平均入院期間 18日、院内死亡率 5.7%  
急性心筋梗塞患者数 85例、院内死亡 7例、平均入院期間 16日、院内死亡率 8.2%

病院紹介&研修医へのメッセージ：聖隷三方原病院は浜松医科大学より浜松市中心部からより北西方向に離れたところにあり、ドクターヘリを有する救急医療から、ホスピスを中心とした終末期医療まで多くの診療科とスタッフで構成されております。各科との連携もよく、さまざまな地域から集まる同年代の医師とお互いに刺激しあいながら診療ができるため非常に研修に適した病院と思います。当科は、2015年1月現在、スタッフ7名、後期研修医1名（5年目1名）、初期研修医3名（1年目1名、2年目2名）の計11名で日々の診療にあたっています。一人の患者さんに、主治医と指導医の二人持ちで、また毎朝、重症患者のカンファレンス、週に1回、全入院患者のカンファレンスを行い、治療方針の確認を行っております。急性冠症候群（ACS）に対しても、ドクターヘリを持つ救急科と連携して、緊急冠動脈造影、PCIを施行しています。アブレーションも、浜松医大第三内科の協力を得て施行しております。循環器疾患の標準的な診断、治療を学ぶにはベストな科だと思います。どうぞよろしく申し上げます。

#### ① 浜松医療センター



循環器科 科長 武藤 真広  
日本循環器学会専門医  
日本内科学会内科認定医・指導医  
日本心血管インターベンション治療学会認定医  
日本不整脈学会不整脈専門医  
臨床研修指導医講習会修了

病床数：606床（感染床6床を含む）

**年間実績 (2013 年度) :** 冠動脈造影 569 件、 PCI 236 件 (緊急 PCI 77 件)、  
末梢血管 PTA 38 件、 アブレーション 182 件 (心房細動アブレーション 124 件)、 ペースメー  
カー 58 件 (交換 19 件 含む)、 ICD 植込み 12 件 (交換 5 件 含む)、 CRT-D 植込み 4 件、  
心筋シンチ 215 件、 心臓 CTA 206 件

**病院紹介/研修医へのメッセージ :** 平成 23 年 4 月に県西部浜松医療センターから、浜松医療センタ  
ーに名称が変更となりました。当院では、循環器疾患に対して、基本的な診断・治療から高度な専  
門的検査、治療まで行うことが可能であると考えています。虚血性心疾患、不整脈、心不全といっ  
た代表的循環器疾患の症例数は豊富であり、PCI、PTA、カテーテルアブレーション、CRT など invasive  
な治療も適応基準を考慮した上で積極的に行っています。治療方針は、心臓外科医ともタイアップ  
し手術適応について検討を行っています。時間外救急は CCU 当直医 (循環器科スタッフ、心臓外科  
スタッフ) が対応することで、24 時間の救急対応を行っています。現在、7 名の循環器メンバーで  
行っており、かなり忙しい研修になると思いますが、一緒に仕事をさせていただけることを期待して  
います。

## ② 浜松赤十字病院



副院長兼循環器科内科部長 俵原 敬

日本循環器学会専門医、  
日本内科学会認定医・指導医、日本核医学学会専門医、  
日本心血管インターベンション学会認定医  
日本心臓病学会特別正会員 (FJCC)

**病床数 :** 312 床

**年間実績 (2013 年度) :** 冠動脈造影 488 件 (PCI 152 件)、  
EPS 14 件)、 ペースメーカー 28 件 (新規のみ)、心エコー 3610 件、経食道心エコー 30 件  
心筋シンチ 687 件、 心臓 CTA 170 件 心臓・血管 MRI 154 件

**病院紹介&研修医へのメッセージ :** 浜松市の北東部 (浜北区、天竜区、中区・東区の一部) を主な  
医療圏とし救急をふくめ高度な循環器診療を展開しています。一般内科・救急医療から高度循環器  
診療まで幅広く、特定の分野に偏ることのないバランスのとれた内科医・循環器専門医の育成に努  
めています。循環器内科を志望する先生は、循環器疾患の患者さんは糖尿病や CKD を合併すること  
が多いことや、救急患者・重症患者に遭遇することが多いことより、一般内科・救急医療の基礎を  
持ち (循環器内科専門医になるには、まず内科認定医にならねばなりません)、さらに循環器内科  
の基礎 (心不全や高血圧治療、心電図、心エコー、心カテ) を習得し、さらに高度循環器診療 (各  
種画像診断、冠動脈カテーテルインターベンション、ペースメーカーや ICD 植え込み、カテーテル  
アブレーションなど) へとステップアップしていく必要があります。そのためには我々のような市  
中病院や大学病院のような研究のできる病院など幅広く研修していくことが望ましいのではない

かと考えています。多くの研修希望者がこのプログラムへ参加していただき、さらに我々の病院でも研修していただければ幸いです。ともに成長できることを希望しています。

#### ⑥独立法人労働者健康福祉機構 浜松労災病院



循環器内科部長 篠田 英二

日本内科学会認定医・総合内科専門医  
日本循環器学会専門医

病床数 312 床

年間実績（平成 25 年度）

冠動脈造影 798 件、 P C I 319 件、下肢動脈ステント留置術 38 件  
カテーテルアブレーション 13 件、 ペースメーカー植込術/交換術 42 件

病院紹介&研修医へのメッセージ

浜松労災病院は浜松市東部の基幹病院です。2010 年 11 月に免震構造を備えた災害医療、救急医療に対応できる新病院として再出発しました。心臓疾患、特に急性心筋梗塞、狭心症、急性心不全、解離性大動脈瘤等の急性期治療に心臓血管外科の協力のもとに 24 時間体制で取り組んでいます。循環器病棟は 52 床（内 I C U 6 床）で循環器内科と心臓血管外科患者が主に入院しており、循環器センターとして機能しています。心臓血管外科とも密接に連携しておりますので、総合的な循環器専門医をこころざす皆さんに有意義な研修になると思います。

#### (C) 地域基幹病院

##### ①JA 静岡厚生連 遠州病院



診療部長 高瀬 浩之

日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会認定医  
日本高血圧学会専門医・指導医・評議員・特別正会員

病床数：400 床（療養型 60 床を含む）

**年間実績(2014年度)：**心臓カテーテル検査；182例、心臓カテーテル手術；75例、ペースメーカー植え込み術；14例、心臓CT 166例、心エコー 1759例、心筋シンチ 288例、英文原著論文；2篇、国際学会発表；6演題、国内学会発表；9演題

**病院紹介/研修医へのメッセージ：**遠州病院は、心臓外科がないというハンディを負っているものの、多くの疾患に対して十分な研修を提供できる病院と思います。(外科適応疾患に対しては浜松医科大学附属病院心臓血管外科などの近隣の病院と協力体制を持っております。)医師としての全般的な基本能力の研修を基盤に、循環器疾患の診療に対応できるように基本的な態度・知識・技能・能力を習得し、急性心筋梗塞・不安定狭心症・急性心不全などの急性疾患にも迅速に対応できるよう研修できます。さらに、循環器医に重要な虚血性心疾患の一次予防・二次予防のための治療や生活習慣の是正指導についても学びます。特に、高血圧においては浜松医科大学附属病院とともに日本高血圧学会認定研修施設であり、高血圧専門医の資格を取得することもできます。また、論文作成や学会発表の実績も多く、魅力ある研修施設と思います。多くの先生方、ぜひ私たちと一緒に研修・仕事をしましょう。

## ②菊川市立総合病院



副院長 松本 有司  
日本循環器学会専門医  
日本内科学会認定内科医

コメント [31]: 写真と文字の配置の変更

**病床数：**260床 (一般科202床、精神科58床)

**年間実績(2014年)：**心臓カテーテル検査 130件、PCI 70件、ペースメーカー植え込み術 10件、心エコー 1340件、心臓MRI 20件

**病院紹介/研修医へのメッセージ：**当院は、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設として、浜松医大第3内科より派遣された医師が中心となり専門性を生かし、可能な限り先進的な医療を提供できるよう努力しています。また、地域基幹病院として、救急医療を含めた幅広い疾患、症例を経験することができ、疫学、在宅、僻地医療の重要性も習得できます。当院では、2010年から「静岡家庭医養成プログラム」を磐田市・菊川市・森町が共同して立ち上げ、米国ミシガン大学との連携しながら世界標準の家庭医療専門医を育成しています。2011年8月からは菊川市家庭医療センターが開設され、より充実した研修環境のもと、地域で活躍できるグループ診療を軸とした家庭医診療の見学も可能です。

### ③市立湖西病院



市立湖西病院 院長 寺田 肇

日本内科学会認定医・総合内科専門医  
日本循環器学会専門医  
臨床研修指導医講習会終了

病床数：200床

**病院紹介/研修医へのメッセージ：**市立湖西病院は、昭和31年に町立湖西総合病院として開設後、湖西市を中心に浜名湖西岸地域の医療に貢献してきた総合病院です。平成元年に病床数200床に増床され、現在、20の診療科を標榜しています。循環器科は、内科専門医、循環器専門医の3名と後期研修医の計4名で診療にあたっています。心臓カテーテル検査室、冠動脈CT検査に利用される64列MDCT検査装置、心臓超音波検査装置、トレッドミル運動負荷検査装置などの循環器用の診断・治療用医療設備があり標準的な診断・治療が行われています。昨年度の心臓カテーテル検査は、201件（PCIは、64件、ペースメーカー植え込み18件）でした。研修医は、循環器疾患のみならず種々の内科疾患も担当し、毎週の内科・循環器科の合同カンファレンスで症例検討を行っています。浜松医科大学から45分の距離であるため、多くの診療科の先生方が専門内科外来（消化器、呼吸器、免疫、血液、腎臓、神経、内分泌内科）を行っており、コンサルトが容易にできます。併設の健診センターの心電図診断や検査技師を含めた週2回のエコーカンファなどを通じて多くの症例にあたってもらっています。また、配置医師となっている特別養護老人ホームや訪問診療を通じ、高齢者医療に関して知識を広める事が可能です。

当院では、循環器疾患のみならず多くの内科疾患のマネージメントが可能な全人的医療を行う医師の養成を目指しています。また、当院では、大学院在学中の奨学金交付や病院勤務をしながら大学院に入学する制度があり、行政も一体となり医師の研修をサポートする体制を取っており、医師海外留学支援事業も計画しています。

### ④中東遠総合医療センター



循環器内科部長兼心血管内治療センター長 森川修司

日本内科学会認定内科医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本心血管インターベンション治療学会（CVIT）専門医・指導医  
頸動脈ステント留置術実施医  
臨床研修指導医講習会修了

コメント [32]: 写真の変更

病床数 500床

## 年間実績（2014年度）

CAG 814件, PCI 424件, CAS 6件, 下肢EVT 57件, ペースメーカー植込み術 59件  
アブレーション 23件, PCPS 装着 6件, 冠動脈CT 455件, 心筋シンチ 125件

## 病院紹介 / 研修医へのメッセージ

中東遠総合医療センターは袋井市立袋井市民病院と掛川市立総合病院が統合し、2013年5月に開院致しました。当院は中東遠地域の基幹病院のひとつでもあり、循環器疾患全般にわたる病態生理の理解と診断技術・治療手技など習得をするために、急性期から慢性期までの循環器疾患を幅広く豊富に経験することができます。特に急性疾患に関しましては、救急医の常勤が5人、循環器医が7人と充実していることもあり、24時間365日どんな症例でも救急車を断ることなく受け入れます。急性心筋梗塞、急性心不全等は勿論のこと、重症の心不全や心室細動、劇症型心筋症に対しても必要であればPCPS装着や低体温療法を施行して患者救命に全力をあげています。また手技としては緊急を含めた虚血性心疾患に対するPCIの他、polyvascular diseaseに対するカテーテル治療（下肢のEVTやCAS、腎動脈へのPTRA等）、カテーテルアブレーション、ペースメーカー植込み術等を指導医とともに習得します。

症例報告、臨床研究を通して地方会での学会発表だけでなく、日本循環器学会等の総会でも学会発表ができるよう指導致します。さらに日本心血管インターベンション治療学会の研修関連施設でもあるため認定医・専門医の習得も可能です。

当院の循環器内科での診療はチーム医療が基本であり、協調性と豊かな人間性のある1人の良医としての専門医の養成を目指しています。このプログラムに参加して頂いた研修希望者が満足して頂けるよう、浜松医大とも連携をとりながらこの研修ネットワークプログラムに貢献していきたいと思っております。

## 8 病院群の症例実績および研修期間

- ① 症例実績は、「7 研修病院群（症例実績を含む）」を参照してください。
- ② 研修期間は、各医療機関最低1年で、合計5年以上。

## 9 プログラム参加の要件

- ① 初期臨床研修を終えていること
- ② 循環器専門医取得の意思があること
- ③ 日本内科学会、日本循環器学会に加入すること

## 10 処遇

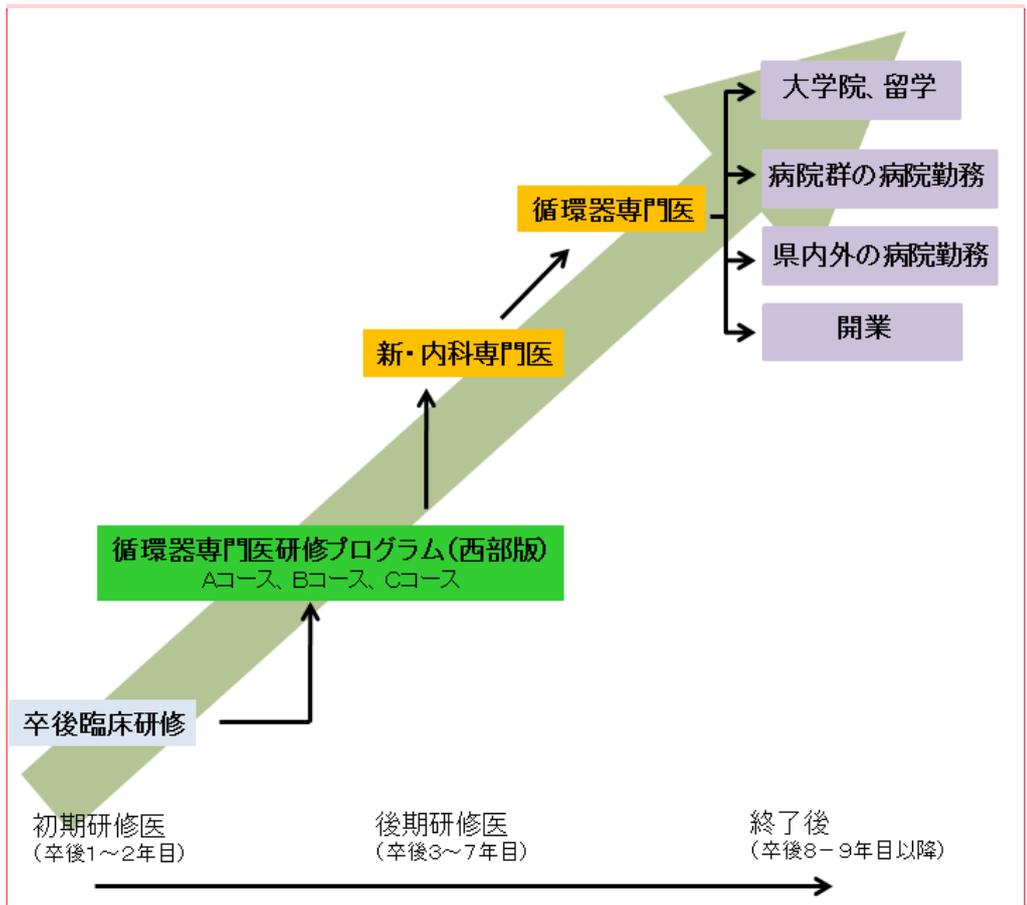
- ① 身分は原則として各病院の常勤医として採用する。浜松医科大学附属病院は医員採用となる。
- ② 給与は、各病院の給与体系に従う。

## 11 プログラム修了後のコース

- ① 大学にて研究、教育、診療を行う、海外留学する、一般病院の勤務医となる、開業するなど個々のライフプランにより決定できる。

- ② 本ネットワークの病院での継続雇用や、県内外の病院に就職を希望する場合、研修管理委員会が対応する。
- ③ 担当窓口では、勤務先病院での処遇、臨床研究、学位取得や海外留学などについて相談を行い、各人の要望に応えるよう努めます。

### プログラム参加者のキャリアプラン



コメント [33]: 表の内容に訂正がありました。

## 1.2 プログラム運営委員会

### ① プログラムの管理

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山一丁目20番1号

浜松医科大学内科学第三講座 林 秀晴

電話 053-435-2267 FAX 053-434-2910 E-mail : [hayashi@hama-med.ac.jp](mailto:hayashi@hama-med.ac.jp)

### ② プログラム運営委員会

- |       |                         |
|-------|-------------------------|
| 林 秀晴  | (浜松医科大学附属病院、ネットワーク責任医師) |
| 松永 正紀 | (磐田市立総合病院)              |
| 岡 俊明  | (聖隷浜松病院)                |
| 若林 康  | (聖隷三方原病院)               |
| 武藤 真弘 | (浜松医療センター)              |
| 俵原 敬  | (浜松赤十字病院)               |
| 篠田 英二 | (浜松労災病院)                |
| 高瀬 浩之 | (JA 厚生連遠州病院)            |
| 松本 有司 | (菊川市立総合病院)              |
| 寺田 肇  | (市立湖西病院)                |
| 森川 修司 | (中東遠総合医療センター)           |

## 1.3 取得できる認定医、専門医資格

- ・日本内科学会新・内科専門医
- ・日本循環器学会専門医
- ・一部の病院においては日本心血管インターベンション治療学会の認定医取得が可能となる
- ・医学博士号取得（浜松医大の研究生となつての論文発表または大学院入学による）

### 新・内科認定医の受験資格



コメント [34]: 文字説明から図へ

#### 循環器専門医の受験資格

- (1) 申請時において日本循環器学会会員であり、かつ通算して6年以上の会員歴を有すること。
- (2) 日本内科学会認定内科医もしくはこれと同等と認められる学会認定医の資格を有すること。
- (3) 6年以上の臨床研修歴を有すること。6年のうち、3年以上は日本循環器学会指定の研修施設で研修していること。平成16年以降に医師免許を取得したものは各認定医取得後、3年以上本学会指定の研修施設で研修していること。
- (4) 申請に必要な書類は、循環器専門医資格認定審査申請書、診療実績表、指定施設研修修了証明書である。